

膜生物学・医学学術講演会

日時：平成27年3月17日（木） 17：00～

場所：A講義室（臨床研究棟4階）

刺胞動物ヒドラで発達した、 消化器系、循環器系、脳神経系

清水 裕 先生

アブドラ国王科学技術大学
上席研究員



刺胞動物ヒドラは旺盛な再生力と網目状の散在神経系でよく知られたモデル動物である。しかし、この2点を除くと、ヒドラの日常をつかさどる生理機構は詳しく調べられていない。にもかかわらず、ヒドラは体内の物質輸送は拡散などの原始的なメカニズムに依存している、との記述があらゆる動物学の教科書に記載されている。私はヒドラの消化、循環の過程を独自に調べてきたが、そこから明らかになったのは、ヒドラにも高等動物のそれとよく似た性質の消化器系、循環器系がそなわっており、拡散に依存してはいないこと、さらにそれらの系を制御しているのは従来、高等動物の脳との進化的な関連があると考えられてきたヒドラの頭部神経系でなくその反対側にある「柄部神経系」である、という事実である。このような研究結果は、生物学関係者もさることながら医学関係の研究者にとっても一定の価値を有すると考えられるので、ここにその内容を披露し諸氏のご意見、ご批判をおおぐものである。

【コーディネーター】神経分化・再生分野 教授 榎本秀樹

【主催】膜生物学・医学教育研究センター【連絡先】研究支援課研究企画係 Tel:5195
E-mail:k9shien@med.kobe-u.ac.jp

先端医学トピックスの講義としても開講します